



第43号

新潟市秋葉区新津東町
1丁目12番9号

新津工業高等学校内
同窓会事務局

TEL0250(22)3441



ごあいさつ

同窓会長 岡村 茂

気がつけば、あつと言う間に同窓会報の発行時期となりました。皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて、今年の夏は、例年に比べて比較的涼ぎやすい様だったと感じられましたが、皆さんにとつてはどんな夏だったでしょうか。それにしても、夏の全国高校野球選手権大会において、日本文理高校の素晴らしい活躍もあつてか、あつい暑い日々が続いてきた様です。そして、九月においては四十五年ぶりとなる二巡目の国体・トキメキ新潟大会が開かれて、新潟県にとつては輝かしい戦績を残され、大変な感銘を受けたところであります。初めて新潟国体が開かれた年は昭和三十九年の六月、

当時、私は新津工業高校の二年生でありました。地元新津においてはボクシングと軟式野球の試合会場となり、今と違って国体に対する意識が強く、大いに市民は燃え上がったことが遠い記憶として思い出される所です。爾来、年月の経つのは早く一期生が母校を卒業して四十二年をむかえております。この間いろいろな人生を送られ、六十歳の一区切りの今、また新たな挑戦に向かって歩んで行くこととなりますが、どうかさらなる健康にご留意されご自愛くださいますよう、紙面を通じて祈念申し上げます。

ところで、三年後の平成二十四年には、我が母校は誕生五十年をむかえることとなります。

時代の変遷と共に学校の歴史も濃く刻まれ、県下有数の工業高校として現下光り輝いております。これからもいついつまでもその名声を誇っていただきたく、学校を支援後援する組織であるPTA・後援会・同窓会で創立五十周年の節目を大切にしたい想いの中、関係する多くの皆さんと共に祝意を表したいことで一致し、今年度中に組織化を図ることとなりました。

今後、早急に各組織より事業実施に向けて委員選出をしていただき、より円滑なる準備をおこなっていくことが必要とおもわれます。それにしても一万余名を有する当会が主体となるのが、周年事業の成功裡に繋がるものと確信しておりますので、どうか、会員各位の層なるご協力をいただきますようお願い申し上げます。会報発行に際してのあいさつとさせていただきます。

同窓会費追徴の御礼と報告

日頃は、当同窓会活動に際しまして、多大なるご支援をいただき厚く感謝と御礼を申し上げます。母校におきましても、今年より新学科が設立されユニークな実習やカリキュラムなどでテレビ、新聞などで報道され、今後の活躍が期待されている現われと、ご承知されている方も多いと思います。

さて、昨年から実施いたしました同窓会費追徴にしまして、今回が初めての試みとなりましたが、皆様の母校はじめ同窓会への関心が非常に高く、又、この趣旨に賛同いただき、第一回生、教職員の皆様から多くの協力を賜り、誠に有り難う御座いました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

今回の基礎データを基に、今後はプロジェクトから、同窓会の通常業務に組み入れることが今年の同窓会総会にて承認されております。

つきましては、今後より多くの方から賛同を頂き、ご協力をお願いしたいと思っております。

記

第一回徴収金額 総額 十六万六千円

対象者同窓会報発送部数 三百部

目的 一、同窓会報のより多くの方への配布

二、母校への資金的助成(クラブ活動の大会参加や母校関係主催の助成等)

三、特別事業への準備

第二回追徴予定

対象者 一回生(二十回生および当時の教職員)

徴収期間 平成二十一年十二月一日()

平成二十二年二月二十八日

徴収金額 金、一〇〇〇円

徴収方法 同封振込用紙にて

以上宜しく申し上げます。

同窓会長 岡村 茂
同窓会副会長 石黒 利幸
(財務担当)



新しい新津工業高校について (近況報告)

学校長 村田 幹夫

同窓会の皆様には物心両面でお世話になっておりますことに感謝申し上げます。学科改編して一年目の本校の様子について、少しお伝えします。

県教育委員会は、今年度から特色ある教育や課外活動を行う県立高校を支援する「オンリーワンスクール推進事業」に高校・中等教育学校十二校を選定しました。「学ぼう匠の技と心」を掲げた本校はその中に選ばれました。溶接や研磨、鍛冶の技術を地元や県央の企業に出向いて学ぶ。また県内の「現代の名工」を講師に招いて指導を受けるほか、習得した知識や技術を小中学生に伝達します。その活動は本校のホームページなどで発信していきますのでご覧ください。

本校は、県内のどこよりも高度な技能を学ぶ工業高校を目指しています。「工業マイスター」の一期生は工業の基礎である機械検査の「技能士三級」に挑戦します。また、来春開催の「関東甲信越高校生溶接コンクール(日本溶接協会主催)」へ選手を送る準備をしています。一年生だけでなく学校全体がものづくりに取り組もうとしています。この夏休みは運動部に加え、作品制作に取り組む生徒の

姿が目立ちました。アイデアアロポット大会、マイコンカーラリーに出場し、県内の工業高校と腕を競いました。高校生ものづくりコンテスト(旋盤部門)に出場し活躍した三年生もいました。また、昨年から受検をはじめた「技能士三級(旋盤)」に七名の三年生が合格しました。

ところで先日、町内のご老人から私宛にはがきが届きました。体育の時間に校舎の周りをマラソン練習する生徒が、合うと必ず「こんにちは」と言ってくれるそうです。それがうれしくて生徒にお礼を言ってもらいたくて一筆書かせてもらいましたという内容でした。ずっと前からそう思っていたとも書かれています。生徒には早速、話をしました。

活発な運動部、伝統のマラソン大会、挨拶など素晴らしい伝統は守りながら、高度な技能を学ぶオンリーワンの高校に発展させていく所存です。これからご支援をお願いいたします。追伸 今年と来年で一棟の校舎を耐震改修します。正面玄関から左側半分は終わりました。来年の夏に右側半分を行います。また、講堂(小体育館)は今年、改修を終えました。



補強工事が完成した校舎

耐震補強された

我が母校



砂利 碎石 採取 製造 販売

有限会社 富士建材

阿賀野市六野瀬 2 4 3 6 - 1
☎ 0 2 5 0 - 6 8 - 2 8 9 0

越後天然ガス(株)認定工事店
新潟・五泉市上下水道指定工事店

 有限会社 丸和工業

本社 新潟県五泉市大字船越 1 3 6 番地 1
TEL (0250) 4 2 - 4 6 0 6 (代表)
FAX (0250) 4 2 - 5 5 7 2
営業所 新潟県新潟市秋葉区新津(山谷北) 5154 番
TEL (0250) 2 2 - 8 4 2 8
FAX (0250) 2 2 - 7 7 0 9
貝沼政志 (13回機械科卒) 長谷川勝二 (18回機械科卒)

会 員 雑 感

光陰矢の如し

宇佐美 進

(第一回電気科卒)

昭和四十一年に卒業して、四十三年余の歳月が過ぎました。光陰矢の如しと申しますが、過ぎてしまえば早いものです。

私は昭和四十一年四月に日揮化学(株)に入社し、四十二年間の長い間働いて来ました。その間昭和から平成へと元号も変わり、平成十九年九月に六十歳の定年を迎え、現在は会社が合併して日揮触媒化成(株)と社名が変更され、そこで再雇用となり現在も元気で仕事をしております。再雇用されて二年に成りますが、健康で働ける間は働きたいと思っておりますので、会社の再雇用制度には大変感謝しております。今は就職難の時代で若い方々も容易に仕事にありつけないという状況となっている中、定年後も仕事出来るなどという事は定年前は思ってもおりませんでした。昔と比べると体力も落ちてはおりますが、まだまだ若い者には負けないと言う気持ちがあります。給料も半額になりましたが、六十を過ぎては再就職口は皆無に等しいと思いますので、現在の職場でもう少

し頑張りたいと思っております。第二の人生を考えるのは少し先に伸びました。

さて学生時代の思い出はと申しますと、記憶もだいぶ薄れてきましたが、我々第一期生が昭和三十八年四月に入学した頃は校舎も実習設備も現在の半分も完成しておらず、その中で自分達で何とか工夫をしながら、やっていった事が思い出されます。又、先生方も相当苦勞をされて授業を行なっていたことと思います。そして学校の規律は大変厳しく、頭は丸刈り、服装は赤いもの入ると駄目等色々な制限がありました。今となっては考えるとそれが社会人となって大変役に立っていたのではないかなと思われまふ。又生徒は男子だけで、学校の脇の道路に若い女性を通ると大勢でベランダに出て眺めておった事等思い出されます。大変失礼な行いではなかったかと思っております。そして今でも強く記憶に残っているのは昭和三十九年の新潟地震です。以上思い付くまま書いてみました。

私の高校時代の三年間は、勉強もせず、ひたすらアルバイトに明け暮れる日々でした。スーパーマーケットで夜間、ソースやマヨネーズの陳列、それにレジ打ち。玩具店でもちや箱の包装、店長とひな壇の配達及び飾り付け、などなど。家庭が特別貧しいと言う訳ではありませんでしたが、単純にこづかい欲しき、ラーメンにコーラやパン代、何せ食べざかりの時期でしたから。タバコに酒代?そんな事にも使った気がします。他にも建設現場でコンクリートの型枠磨き、駐車場の整理員など、よく働いたのを覚えています。親の苦勞も知らず、まとまった金が入れば、夜行列車に乗り、一人放浪の旅。当時は今と違って高度成長期、就職口も沢山あり、かなりの売り手市場、危機感も持たずに呑気に構えていました。三年生になり、先生、家族と相談した結果、市内の某電

川崎節男

(第九回電子科卒)

気会社に就職しました。留守番電話や卓上計算機などを作っている製造工場でした。入社二年目、オイルショックの為工場が閉鎖に追い込まれ、自宅に解雇通知が届きました。それからの生活は悲惨なもの、職安通いと建設現場でのアルバイト。たまに同級生に会えば、部下が出来たの、係長に昇進したなどの話ばかり。二十歳を過ぎて、初めて「学校という所は勉強する所であって、アルバイトをする所ではない」と感じました。高校一年の息子に、遊ぶなどは言わないが、学校は勉強する所、後で泣くのはお前だぞ、繰り返して言うて聞かせています。



有限 長谷川設計
会社

代表取締役 長谷川 貢 (第5回機械科卒)

〒959-2113
新潟県阿賀野市緑岡231-57
TEL(0250)67-4192 FAX(0250)67-2976
E-mail:chosan33@blue.ocn.co.jp

株式 システム技研
会社

代表取締役 石黒利幸 (第14回電子科卒)

〒950-0863
新潟市東区卸新町2丁目2066番地7
TEL(025)256-6711(代) FAX(025)378-1550
E-mail:ishiguro@nisisygi.co.jp

同窓会役員


- 会 長 岡 村 茂 (1 M回生)
- 副 会 長(企画担当) 吉 野 真佐信 (2 M回生)
- 副 会 長(組織担当) 長谷川 貢 (4 M回生)
- 副 会 長(総務担当) 高 塚 則 明 (8 e回生)
- 副 会 長(財務担当) 石 黒 利 幸 (14 e回生)
- 書 記 長 斎 藤 靖 (20 e回生)
- 書記次長 昆 昌 喜 (11 e回生)
- 会 計 島 倉 弘 (6 E回生)
- 会計監査 渡 辺 輝 文 (3 M回生)
- 会計監査 藤 原 繁 (5 e回生)
- 幹 事 玉 木 健 二 (事務局)
- 幹 事 渡 辺 光 (事務局)
- 顧 問 小 柳 新 一 (1 E回生)
- 顧 問 間 勇 雄 (1 M回生)
- 顧 問 斎 藤 久 (2 E回生)

※評議員26名も役員ですがスペースの関係で本号に掲載
できませんでした。

※役員任期は平成18年12月 1 日から平成23年11月30日ま
での5年間

※正会員数11, 159名(H21. 3末現在)

平成20年度末 平成21年度始 教職員の異動状況



〔転出〕

- 風間 忠樹 (機械)
- 長期研修 (一年)
- 長谷川 正人 (技術員)
- 阿賀黎明高校へ

〔退職〕

- 佐藤 鉄夫 (機械)
- 小林 直子 (家庭)
- ヴォトワール・智子 (英語)
- 東理 茂 (事務長)
- 佐藤 操 (事務・主査)

〔転入〕

- 金子賢一郎 (保健体育)
- 伊藤美恵子 (工業)
- 権平 松男 (工業)
- 今井 直樹 (工業)
- 名塚 武史 (工業)
- 和田 琢磨 (工業)
- 中林 一夫 (工業)
- 佐久間俊承 (数学)
- 吉川 典子 (英語)
- 吉田 長久 (工業・溶接)
- 田辺 明 (事務長)
- 仲川由美子 (事務・主査)
- 吉澤日出夫 (技術員)
- 柳川 律子 (図書補助員)

(十月より)

新潟県立新津工業高等学校同窓会の ホームページをアクセス してみてください。

学校の情報とあわせて同窓会からの情報を
発信していますので、ぜひご利用ください。

【ホームページURL】

<http://www.nin.ne.jp/~hisyou>

編集後記

紅葉の便りが聞こえる季節、
皆様にはお元気でご活躍の事と
思います。

今年度より新学科でスタート
した後輩達の学習の様子が新聞
等で報じられる度に、先生方
のご指導ご努力に頭を下げ、後輩
達にエールを送っています。同
窓会報でも、その一端を皆様
にお知らせしたいと考えておりま
す。

会報発行にあたりご多用中
にもかかわらず快く原稿依頼にお
応えいただきました皆様に感謝
申し上げます。時節柄お身体に
留意なされ益々のご活躍をお祈
り申し上げます。

(編集委員 高塚)



新津・新潟・東京



本社・工場 / 新潟市秋葉区古田3丁目10-7
TEL (0250) 24-6633 (代表)

事務機・事務用品



高塚 則明 (第8回電子科卒)
新潟市秋葉区新津本町4丁目6番23号
TEL (0250) 22-1610代表